

## 第 10 回大阪市公文書管理委員会議事要旨

### 1 日 時

平成 29 年 1 月 31 日 ( 火曜日 ) 15 時 00 分から 17 時 00 分

### 2 場 所

大阪市公文書館 2 階 会議室

### 3 出席者

#### 【委 員】

上田健介委員、金井美智子委員、小西和夫委員、澤井実委員、玉田裕子委員、安竹貴彦委員

#### 【事務局】

岸本 孝之	総務局行政部長
高畑 康之	総務局行政部行政課長代理
遠藤 博文	公文書館長
今中 國雄	公文書館次席調査員

### 4 傍聴者

なし

### 5 議 題

#### ・ 審議事項

- ( 1 ) 特定歴史公文書等の廃棄候補の検討結果について
- ( 2 ) 特定歴史公文書等のデジタル化の取組について
- ( 3 ) 大阪市公文書館特定歴史公文書等の整備・保存に関する方針及びデジタルアーカイブの推進について ( 案 )
- ( 4 ) その他

### 6 議事要旨

#### (1) 特定歴史公文書等の廃棄候補の検討結果について

##### 【事務局説明】

1,699 冊の特定歴史公文書について、廃棄候補として検討したが、そのうち 1,597 冊が、公文書管理条例第 28 条にかかる運用ルールにあたらないと判断し、102 冊は引き続き歴史資料として重要であると判断したことを報告した。

##### 【委員からの主な意見・質問】

- ・新聞スクラップですが、年代的には何年くらいのスクラップですか。

事務局：昭和40年代までのものはなく、昭和51年度から昭和55年度、昭和61年度から平成元年度のもの。

- ・市会の会議録は公文書館には両方含まれているということですね。
- ・新聞スクラップについて、おそらく趣旨としては、切り抜いたあと、スクラップという編集をしていますので、当時、どういう意図があったのかなということも大事。
- ・新聞スクラップについて、新聞は、経年によって壊れやすくなっていき、活字も薄くなっていくだろうと推測される。これをデジタル化して利用に供するなどの検討を行っても良い。

## (2) 特定歴史公文書等のデジタル化の取組について

### 【事務局説明】

公文書館に収蔵している映画フィルムについて、経年劣化が著しいことから、平成27年度からデジタル化に取り組み8タイトル、19本の映画フィルムのデジタル化を行うことを報告した。

### 【委員からの主な意見・質問】

- ・以前にもこういうリストは見せていただいたが、資料は交通局のものばかりで、特に何か理由があるのか。  
事務局：公文書館に引き継がれているものが、交通局のもののみである。
- ・市民の財産であるとの意味からも、せっかくDVDを作成するのであれば市民のみなさんに、多く利用していただけるように工夫をしていただけたらと考える。

## (3) 大阪市公文書館特定歴史公文書等の整備・保存に関する方針及びデジタルアーカイブの推進について(案)

### 【事務局説明】

- ・今後の公文書館におけるデジタルアーカイブの推進に併せて、館全体の特定歴史公文書を永久に保存するための方向性を整備し、安定した公文書館の運営、事務を継続するために「大阪市公文書館特定歴史公文書等の整備・保存に関する方針及びデジタルアーカイブの推進について(案)」を策定したことを報告した。

### 【委員からの主な意見・質問】

- ・デジタルアーカイブを推進するというのは、総務省なり国のひとつの大きな流れであり、大阪市として、図書館、博物館、美術館等のMLA連携というか、視野に入れて進めていくこととなると思うが、これは公文書だけのデジタルアーカイブの方針ということで、図書館やミュージアムなどは連携の視野には入っていないのか。  
事務局：まずは、紙の公文書のデジタル化の取り組みが第一歩と考える。
- ・方針案の最後の方のデジタル化した資料の保存と利用ということで、利用の促進、利便性の向上というところが、もともと総務省が言っているのも、デジタル化すると利用がしやすくなるので、これまで保存が中心だったのが利用の方向でだれでもが自由に、家庭からでも見られるように利便性の向上を目指すということがあると思う。
- ・デジタル化の方針を定めて進めていかれる時に、博物館、美術館とも若干重複する部分があるかと

思う。それと作成されたデータの整合性、閲覧をある程度横断的に見られるような仕組みというのを最初に調整が必要ではないかと考える。

- ・図書館の世界では、ダブリンコアやメタデータの検討も進んでいるので、今後そういった話も出てくると思う。調整も含め、大阪市トータルとして、地域行政資料、特定歴史公文書も含めてデジタル化が進んでいくといいと思っている。

#### (4) その他

##### 【委員からの主な意見】

- ・デジタル化の対象に工事図面を含めると、災害時に原図面を探し出すとか、迅速な復旧ができた、できなかったというのが被災地であった。デジタルアーカイブを市全体で考えるときに、防災の観点からという部分も若干必要であると思う。公文書と関わるかはわからないが、建築局等からそういった工事図面等があれば、重要な資料と思う。
- ・古い設計図は、青焼きの設計図が大半だと思う。おそらく簿冊に綴じ込んでいるのが大半だと思うので、これを開けるとどんどん破れていき、また青焼きなので色が消えていく。利用する方も、例えば細かいところを拡大して見たいなどの要望もあるので、却ってデジタル化しておいたほうがいい。

## 7 会議資料

資料1 特定歴史公文書等の廃棄候補の検討結果について

資料2 特定歴史公文書等のデジタル化の取組について

資料3 大阪市公文書館特定歴史公文書等の整備・保存に関する方針及びデジタルアーカイブの推進について(案)

## 8 問合せ先

大阪市総務局行政部行政課文書グループ

住所：〒530-8201 大阪市北区中之島1丁目3番20号

電話：06 - 6208 - 7433 ファックス：06 - 6229 - 1260